



## 学校支援地域本部

**スーパーバイザー**  
学校支援地域本部の中心的な存在であり、まとめ役として、企画・立案、全体調整や地域コーディネーター育成、教育委員会との連絡調整等を行います

**地域コーディネーター**  
学校と学校支援ボランティアの調整役として、ボランティアの募集や取りまとめ、地域との情報共有等を行います



**学校支援ボランティア**  
学校の求めに応じ、学習補助、部活動の指導補助、学校の環境整備等、実際に支援を行います

## 「人の輪」を大切に、地域に開かれた学校へ



▲東六番丁小学校学校支援地域本部スーパーバイザー・鹿野恵美子さん

東六番丁小学校で「学校支援地域本部」が立ち上がったときに、学校支援ボランティアとして関わり、平成23年度からスーパーバイザーになりました。東六番丁小学校では、学校支援ボランティアを、いつでも子どもたちのために協力してくれる人という意味を込めて「サポーター」と呼びます。ミシンの使い方や習字などの学習補助や学校行事をはじめ、さまざまな場面でサポーターの皆さんが活躍しています。私も新1年生が落ち

ち着いて学習に取り組めるよう担任の先生をサポートする「小1生活・学習サポーター」として長年携わっています。現在14人の保護者や地域の方が登録し、通称「お母さん先生」として、入学式翌日から各教室に毎日1人ずつ入り、給食も一緒に食べ、会話をしながら子どもたちの様子に気を配り、見守っています。先生と違う立場で声掛けすることで、子どもたちも安心して過ごせることにつながればと思います。

この活動を10年近く続けてきたことで、町内会独自の登下校の見守り体制ができたり、学校行事の時期には、地域の皆さんから進んで声を掛けていただいたりするようになりました。学校や子どもたちのことを、地域の皆さんが把握している、その安心感と協力体制は、学校にとっても心強いのではないのでしょうか。地域の方たちから「頼りにされてうれしい」「先生や子どもたちからたくさんのお話を学び、知り合いも増えて良かった」などの声を聞くのもうれしいですね。私も子どもたちの成長した姿を見ると、関わってきて良かったと思います。

「学校支援地域本部」を通して、たくさんの手が繋がりが、地域全体で子どもの学びに関わることで、学校が地域に開かれていくことを実感しています。

スーパーバイザーという仕事は、一人ではできません。いろいろな人と関わり、声を聞き成り立つものです。これからも「人の輪」を大事に、子どもたちの成長を見守っていききたいですね。



▲「お母さん先生」が、子どもたちが安心して集団生活を過ごせるようサポートしています

この特集に関するお問い合わせは、学びの連携推進室 ☎214・8438、FAX264・4437



登下校の見守り

本の読み聞かせ

# 地域の力が子どもたちの豊かな学びに—学校支援地域本部の取り組み



茶道クラブ

岩切防災マップ作り

広瀬川生物観察学習

地域につくられた学校の応援団

少子化や核家族化、都市化を背景とした子育て世帯の孤立や近隣とのつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境が変化する中で、学校教育に求められるものも多様化、複雑化しています。これまでもそれぞれの学校で、地域の協力を得ながら、教育活動を行ってききましたが、その取り組みを発展させ、組織的なものとしたのが「学校支援地域本部」です。これは、学校の求めに応じて、地域が必要な支援を行う、いわば地域につくられた学校の応援団。平成20年度から市立小・中学校に設置が始まり、令和元年12月現在、設置率は9割を超えています。

学校支援地域本部の主役は、地域住民の方々。さまざまな活動を実際にお手伝いする「学校支援ボランティア」、学校と学校支援ボランティアの連絡調整を行う「地域コーディネーター」、全体の企画立案・運営を担う「スーパーバイザー」で構成されています。学校支援ボランティア数は年々増加しており、昨年度は延べ11万人以上の方が活動に参加。学校と情報を共有しながら、地域全体で子どもたちの学びを支えています。

地域ぐるみで子どもを育てる

学校支援地域本部の活動は、学習の補助や登下校の見守り、学校行事の手伝いなどさまざま。子どもたちが、地元で伝わる伝統芸能を習って発表したり、住民の方々に話を聞きながら危険箇所を調べ、防災マップを作成したりするなど、地域に密着した特色ある活動もあります。スーパーバイザーが中心となり、学校の要望に応じて、地域の人材とのマッチングを行いながら活動しています。

子どもたちは、地域の方々のコミュニケーションが増え、周囲の大人に認められることで自信をつけていきます。また、多世代交流を通して社会性も育んでいます。地域の方にとっても、学校が身近な存在となり、子どもたちへの理解が深まるとともに、自身の経験や知識が、教育に生かせることでやりがいにもなっているとの声も聞かれています。

未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えることは、子どもたちの地域への愛着を深め、将来の地域づくりにつながります。学校支援地域本部の取り組みを推進することにより、地域とともに歩む学校を目指します。